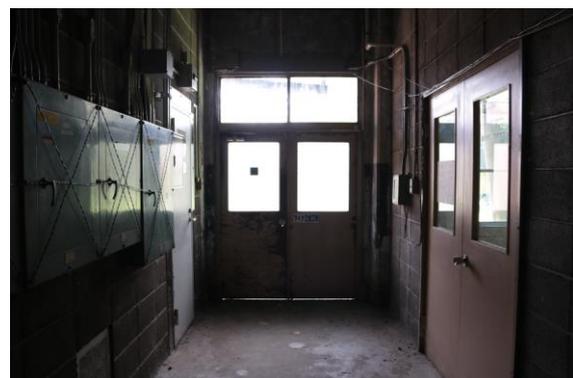


名称	物理試験室 ※東西に構造の異なる3棟が連結しており、便宜的に東からC、D、E棟と称する。
建築年代	C棟：昭和13年（1938）、D棟：明治40年（1907）、E棟：昭和6年
構造	C棟：鉄筋コンクリート造平屋建、D棟：煉瓦造平屋建、E棟：鉄筋コンクリート造平屋建
用途	火薬研究所の研究棟として使用された施設。火薬の密度や粒度に関する物理試験を行っていた。
特徴	<ul style="list-style-type: none"> <li>・D棟は北側・南側とも煉瓦壁体の外観を持つ。明治40年築と推定されており、史跡指定地内では最古の建物。</li> <li>・D棟の床には、電気軌道のレールが確認されるが、煉瓦壁に遮られている。電気軌道が私道の方向に伸びていたとすれば、北側の煉瓦壁体は後年の改変と考えられる。</li> <li>・D棟は当初、無煙火薬製造工程の光沢室（火薬に黒鉛で表面処理し、すべりをよくして装填性を向上させる場所）として使用されていた。</li> <li>・D棟は設置以来、何度か名称を変えていることが分かっており、大正10年（1921）時点では第三光沢室、昭和9年（1934）時点では仮置場、昭和18年時点では物理試験室、昭和20年終戦時は物理試験室と称されていた。</li> <li>・C棟は中廊下型の配置をとり、E棟は北側に廊下、南側に各室が配置される。</li> <li>・C棟には理化学研究所板橋分所において、湯川秀樹が使用していたとされる部屋があり、E棟には電算機、宇宙線観測機器が設置されていたとされる部屋が残る。</li> </ul>



C棟



D 棟



E 棟

